

2024年9月14日（土）の 大分合同新聞

9月11日（水）に日田木材協同組合と共催で実施したインドネシア大使館との共同セミナーについての記事が掲載されました。

合 同 新 聞 2024年（令和6年）9月14日 土曜日

林業 人手不足解消を インドネシア関係者出席

日田で特定技能外国人の雇用説明会



【日田】外国人労働者を受け入れる特定技能制度の対象に新たに林業、木材産業が追加されたことを受け、日田木材協同組合と人材派遣会社「Airstation」（本社・大阪市）は11日、特定技能外国人の雇用説明会を日田市東有田の同組合で開いた。林業、木材産業が盛んな同市内の人手不足に対応するため、日本への人材派遣を進めるインドネシアの関係者も出席した。

在留資格「特定技能」は人材を確保することが困難な産業分野で一定の専門性・技能を持った外国人を受け入れる制度。国は12分野を対象としていたが今年3月、新たに林業、木材産業など4分野を追加。今後5年間で林業は最大千人、木材産業は同5千人を受け入れることを決めた。

説明会には約50人が参加。在日インドネシア大使館やインドネシアの日本語学校、同社の関係者が現状や制度について説明。来日した外国人の定着率を高めるために必要なことなどを指摘した。

同大使館のザフルル・ムッタキン林業部長は「インドネシアに人材は多くいるが、（国内の）仕事量が追いついていない。人材が不足している日本に送り出し、貢献したい」と話した。同組合の瀬戸亨一郎理事長は「説明会を通じ、制度に対する知識を持つことで各事業所の人手不足対策を事前に考えてほしい」と強調した。

（赤坂耕）

な行動などを意見交換した。

を差して張った

の10

賞した

九州

健闘を

を訪ね

の児童

分筆精

日・大

本筆法

【豊

券法の合同七会 活開新